

<対策のポイント>

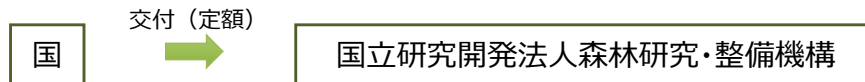
- ・ 令和元年度台風第19号により、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所多摩森林科学園において、試験林や現地調査で使用する路網等が損壊。
- ・ 研究業務の再開や被害拡大防止等を図るため、試験林等の復旧工事を実施するための財源として運営費交付金を交付。

<事業の内容>

<事業の内容>

台風第19号により被災した多摩森林科学園の研究設備について、崩壊斜面を安定させ、損壊した試験林の復旧・被害拡大の防止や路網等の復旧・整備をし、早急に研究業務を再開するための財源として、運営費交付金を交付。

<事業の流れ>



<多摩森林科学園の概要>

- ・ 多摩森林科学園は、森林研究・整備機構の研究施設の1つで東京都八王子市に所在。
- ・ 都市近郊林や森林環境教育、サクラ品種に関する研究等を実施。
- ・ 一般向けの研究成果の普及や環境学習の場としても施設を活用。



<事業イメージ>

<台風第19号による被害状況>

- ・ 園内で豪雨による斜面崩壊が多数発生。
- ・ 都市近郊林における皆伐跡地の植生回復等の研究を行う試験林が損壊したほか、調査・管理用の車道・歩道といった路網等が損壊。



【損壊した試験林】
周囲の樹木の根が浮いた状態であり、今後さらに被害が拡大する恐れ。

<試験林等の損壊状況写真>



【崩落により寸断された歩道】
(破線は損壊前のイメージ) 試験調査地へのアクセス道であり、一般来園者も利用する歩道が崩落により寸断。



【歩道崩落により流出する土砂】
今後の降雨等により被害が拡大すれば、土砂が公道に流出するおそれ。